

性向上対策には、長期的な視点に立ち、現場で減収要因を特定する簡便な指標化、水田輪作体系のなかでの効率的な対策技術が求められている。

#### 引用文献

長野県, 2010. 主要農作物等指導指針, 長野県農政部農業技術課, 長野, 321-325.

長野県, 2016. 麦・大豆・そば生産振興方針, 長野県農政部農業技術課, 長野, 6-7.

細川寿 2006. 排水不良地域における耕うん同時畝立て播種技術. 農林水産技術研究ジャーナル 29 (12): 20-24.

細川寿 2008. 耕うん同時畝立て播種作業機の汎用利用によるムギ・そばの湿害軽減技術. 機械化農業 3080: 17-20.

この研究の一部は、農林水産省委託プロジェクト「水田作及び畑作における収益力向上のための技術開発—多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発」による。

## コラム

### ジョイント樹形を活用した省力化技術の開発

神奈川県農業技術センターで開発した果樹ジョイントですが、多様な樹種での応用ができる主枝高を低くし、側枝をV字型上方に配置した樹形を開発しました。この樹形はウメやカキなどの立木樹形でも応用が可能ですので、早期成園化に加え、脚立が不要な低樹高化が可能で、大幅な省力化や農薬散布量の低減が可能です。

さらに、多くの樹種を同一樹形で栽培できるので、機械利用による大幅な省力化が期待され

ます。

27, 28年の2カ年間、攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業(うち産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)において、この可能性を検討し、写真のような自動防除試作機を開発しました。ゴルフ場で使用しているカートを改造し、ラジコン防除機を荷台に載せたものです。このジョイント樹形は枝の配置が平面です。近接散布で更なる農薬散布量の削減の可能性も示されました。 北見 丘(神奈川県)

